

2024年1月29日

遠隔地点呼における身代わり行為について（お詫び）

南海バス株式会社

弊社が運行する高速夜行バス2路線（大阪・京都 ⇄ 長岡・三条線及び大阪・京都 ⇄ 鎌倉・戸塚線）におきまして、一部の乗務員による遠隔地点呼（飲酒検査）の身代わり行為が判明いたしました。

お客さまをはじめ、関係する皆さま方に多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。今回の事案を厳粛に受け止め、再発防止を図るとともに、輸送の安全確保と信頼回復に向け全力で取り組んでまいります。

記

1. 対象便

2023年10月以降に運行した大阪行き（復路便）の計3便。

三条 21:05 発大阪行き（2023年10月26日・12月21日）

戸塚 21:00 発大阪行き（2023年12月12日）

※乗務員二人一組で対象便に乗務。

2. 事実の内容

上記対象便において、弊社乗務員が同僚の乗務員に依頼し、自身の代わりに出発前の遠隔地点呼（飲酒検査）を受けさせました。

弊社の遠隔地点呼（飲酒検査）では、飲酒検査の測定結果と検査時の被検者画像を、点呼執行者が弊社営業所内の端末モニターで確認できる仕組みを導入していますが、本件では、点呼執行者が被検者画像を漫然と確認したため見落としが発生しました。

3. 再発防止策

次の取り組みにより、確実かつ厳正な点呼執行を徹底いたします。

- （1）遠隔地での点呼執行にあたり、身代わり防止と確実な本人確認の徹底のため、ビデオ通話を導入します。
- （2）全乗務員及び全点呼執行者に対して、厳正な点呼執行の重要性及び作業手順の遵守について、教育の徹底を図ります。
- （3）高速夜行バスにおける遠隔地点呼（飲酒検査）の実施状況について、本社管理職等が定期的な監督・指導を行い、厳正な点呼執行体制を確保してまいります。

以上